

緊急性ない場合中期に

おくちの相談室

【問い】現在、妊娠中ですが、急に歯が痛くなり歯科医院を受診したところ、麻酔して神経を取る必要があると言われました。妊娠中でも麻酔を使ったり、痛み止めの薬を飲んだりして大丈夫でしょうか？(長崎市、29歳女性)

【答え】妊娠中の歯科治療は基本的にいつでも可能で、緊急を要する場合は妊娠や授乳を理由に治療を遅らせる必要はありません。しかし、妊娠初期はつわりのために治療が困難になったり、薬の影響を受けたりしやすい時期です。また、妊娠後期はおおむねの状態が治療を受けるのが困難な場合があり、緊急性がない場合は妊娠中期に行うことをお勧めしています。

で、必ず歯科受診の際にお知らせください。
妊娠中のエックス線検査も可能です。緊急性にもよりますが、見えない部分のむし歯を見逃す不利益が考えられる場合には、必要に応じて撮影します。歯科で用いるエックス線撮影装置から出る放射線は少量で、照射する歯周囲だけに絞っています。腹部を覆う防護エプロンを着用することによって、さらに安全に検査を受けることが可能です。
このように、妊娠中でも完全に歯科治療を行うことは可能です。妊娠中は口の中の炎症が起りやすく、またむし歯の原因菌が活動しやすくなるので、歯周病やむし歯のリスクが高まります。歯周病になると、早産や低体重児出産のリスクも高くなりやすいといわれていますので、妊娠期間中に歯のトラブルで困らないよう、普段からかかりつけ歯科医院で予防処置や定期検診を受けることをお勧めします。

歯科で用いる局所麻酔は、胎児に与える影響はほとんどありません。むしろ、しっかりと麻酔を効かせてストレスなく治療を受ける方が利点が大きいと考えられます。一方、内服薬は種類によって胎児への影響が心配されますが、妊娠が分かっている場合にはそれらを避けて処方しますの

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒8052-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

妊娠中の歯科治療

回答者
坂本 慶一郎
長崎西海町
琴海歯科医院長

